

「大山宿泊体験塾」開講

大山公民館

大山公民館が11月13日～19日まで大山青年の家で宿泊体験塾を開講し、大山西小学校の4～6年生33名が参加しました。

大山公民館は68年ぶりのスーパームーンをみんなで観察する予定でしたが、あいにくの小雨模様で実現できず、今回の活動の一番の心残りとなっていました。

この一週間は、大山青年の家から学校まで通学し家族と離れた生活を体験します。課外活動として今年はずせ、餃子作りをしました。この課外活動はほとんどの児童が初めての体験でも新鮮だった

子どもたちの感想文には「自分一人ではできないことも友達と協力すればできると思いました」と達成感がつづられていました。体験活動を

通して多くのことを学んだ一週間となりました。



初めての座禅体験

気迫と熱気にあふれて

～片木杯 青少年育成剣道大会～

青少年育成剣道大会が、12月4日に大山中学校体育館で行われました。この大会は、町内企業の(株)片木アルミニウム製作所(片木威社長)からの寄付により運営されています。県西部から163人の小中学生が参加して、日頃の鍛錬の成果を競いました。

また、各部門の優勝から3位にはオリジナルで作成された金・銀・銅のアルミ加工の盾が贈られました。

大会終了後には、恒例の合同練習が行われ、参加者は各団体の指導者と一緒にさわやかな汗を流しました。



熱い試合が繰り広げられました

大山にあそび・大山に学ぶ

大山保育所

自然環境に恵まれた大山保育所では、自然の中で遊ぶ保育をたくさん取り入れていきます。

園外での活動では、でこぼこ道や急な坂道を歩いたり、動植物の姿を観察したりして、子どもたちの五感を刺激する大切な体験をしています。

また、夏は磯遊びに出かけたり、冬は雪遊びをしたりして、海から山まで楽しみながら、自然の厳しさも経験しています。

大山町では、保・小・中の連携に力を入れています。大山保育所は、大山小学校



▲5年生、地域の方と一緒に脱穀作業

と連携し、驚見校長先生に妙見山登りやバードウォッチング、春みつけや秋みつけなど自然観察にたくさん関わっていただいています。

子ども同士の交流では、5年生と一緒に田植えや稲刈り、脱穀をしたり、1・2年生とイモ掘りをしたりして、労働の喜びを感じます。

このほか、春と秋の自然散策や小学校での給食と掃除の体験、小学校のマラソン大会の応援など、いろいろな体験をたくさんしながら、元氣いっぱい過ごしている子どもたちです。



▲驚見校長先生の自然解説